

製品名: MCM7 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86453

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.51mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:20-1:50,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:81 kDa; Observed MW:81 kDa

抗原情報

遺伝子名	MCM7
別名	MCM2; CDC47; P85MCM; P1CDC47; PNAS146; PPP1R104; P1.1-MCM3
遺伝子 ID	4176
SwissProt ID	P33993
免疫原	ヒト MCM7 の合成ペプチド

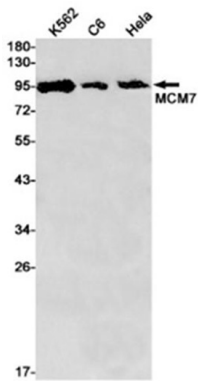
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、真核生物ゲノム複製の開始に必須である、高度に保存されたミニ染色体維持タンパ

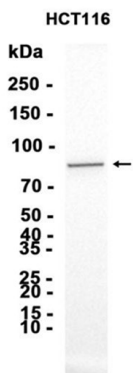
ク質 (MCM) の一つです。MCM タンパク質によって形成される六量体タンパク質複合体は、複製前複合体 (pre_RC) の重要な構成要素であり、複製フォークの形成や他の DNA 複製関連タンパク質のリクルートメントに関与している可能性があります。このタンパク質と MCM2、4、および 6 タンパク質からなる MCM 複合体は DNA ヘリカーゼ活性を有し、DNA 巻き戻し酵素として作用する可能性があります。サイクリン D1 依存性キナーゼである CDK4 は、このタンパク質と会合することが知られており、このタンパク質と腫瘍抑制タンパク質 RB1/RB との結合を制御している可能性があります。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

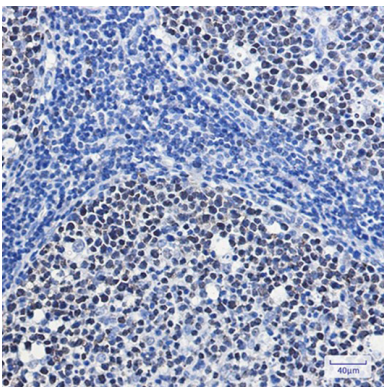
画像データ



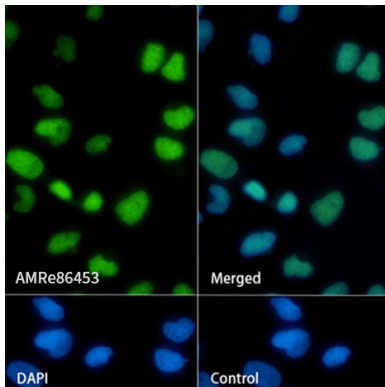
MCM7 抗体 (1:1000 希釈) を使用した K562、C6、Hela 細胞溶解物中の MCM7 のウエスタンブロット検出。



AMRe86453 を 1:2000 で使用した HCT116 細胞抽出物のウエスタンブロット分析。



AMRe86453 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。



AMRe86453 で MCM7 を標識した HeLa 細胞の免疫蛍光分析。